

としはる通信

2007.9
No.23

編集、発行
川村俊治
〒258-0111
山北町向原
17-10
75-0928
E-Mail
t-kawamu@mv
d.biglobe.ne.jp



いあいわい

真赤な彼岸花が咲き競い秋の訪れを感じさせる季節になりました。

近年にない猛暑を乗り越えてきた身体にはさわやかな秋風を期待したいこのごろです。皆様方のご健勝をお祈りいたします。

さて、9月11日から19日までの9日間、山北町議会第3回定例会が開催されました。主な議題は平成18年度一般会計、9特別会計及び水道事業会計の決算の認定でした。

いずれ議会だよりで詳しく報告されますが、速報としていつものようにお知らせしてまいります。ご一読いただいてご意見などお寄せいただきますようお願い申し上げます。



川村としはる
(俊治)

一般質問

広域行政への取り組み

ごみ処理広域化計画

質問 西部清掃組合(山北町、開成町)の焼却炉は平成21年度で建設後15年を経過する。炉が老朽化する前に早急に1市5町の広域化計画に取り組む必要はないか。

答弁 平成16年に作成した実施計画は内容の見直しをしている。西部清掃は15年の延命処置を考えている。

質問 広域化計画は18年度から再開すると説明があった。誰がリーダーとして推進するのか。平成22年度には南足柄市は28年目、東部清掃組合(中井町、大井町、松田町)は27年目を迎える。神奈川県焼却炉の平均寿命は20年である。早急に取り組む必要はないか。

答弁 すぐに再開しないと行き詰るといふ状況ではない。南足柄市、東部清掃組合の炉は延命工事をした。西部清掃組合も延命工事を実施する。

質問 国の補助金、交付金の対象とするには日量100トン、人口5万人以上、溶融炉が条件になるがどう考えるか。

答弁 最新の技術を確認した上で議論していく。

質問 昨年9月、他の議員の質問に対し溶融炉について検討すると答弁したがその結果はどうか。

答弁 まだ勉強していない。

質問 選挙の公約どおりリーダーシップをとって進める考えはないか。

答弁 各首長とも推進する意識がまだ感じられない。

足柄衛生組合のし尿処理施設

質問 下水道の整備に伴い使用率が低下するが負担金の配分はどうするのか。

答弁 管理経費は均等割り、施設にかかわる経費は人口割り、し尿処理の費用は実績割り、山北町の負担額は1600万円から2000万円となる。

質問 排気に伴う臭気が周辺に与える影響をどう考えるか。

答弁 現在の老朽化した焼却施設を廃止、20年度に汚泥発酵分解処理施設に切り替えていくので臭気の問題は解決されると考える。

高松地区振興策の今後は

質問 高松地区畜産団地構想におけるアクセス道路としての特定中山間保全整備事業は国の方針により中止になった。畜産団地構想は今後どのように進めていくのか。

答弁 畜産団地整備構想の実現にはアクセス道路の整備が不可欠である。県と町で検討組織を設置した。本年度内に一定の方針を出していく考えです。

ごみ処理広域化実施計画

足柄上地区資源循環型処理施設整備準備室では、平成16年3月に「22年度を目標に広域化を行う」とする報告書を出しています。エコループ問題があり計画を中断していました。18年度から再開する予定でしたが、今回の答弁は具体的な推進の報告はなく、まだきちんと議論をしていないということ、町としてどこまで真剣に考えているかと感じました。避けて通れない広域化を前に町民の理解を得るため、説明会とかアンケートなどの行動が必要な時期に来ているのではないかと思います。

平成18年度決算

一般会計

歳入

自主財源では町民税が増収となったが、固定資産税が評価替えにより減収となり全体では微減。自主財源比率は60%となりました。

依存財源は税源移譲に伴い所得譲与税が大幅増、まちづくり交付金による国庫支出金は増えたが、地方交付税の減額、県支出金の減額により全体では微増。依存財源比率は40%となりました。

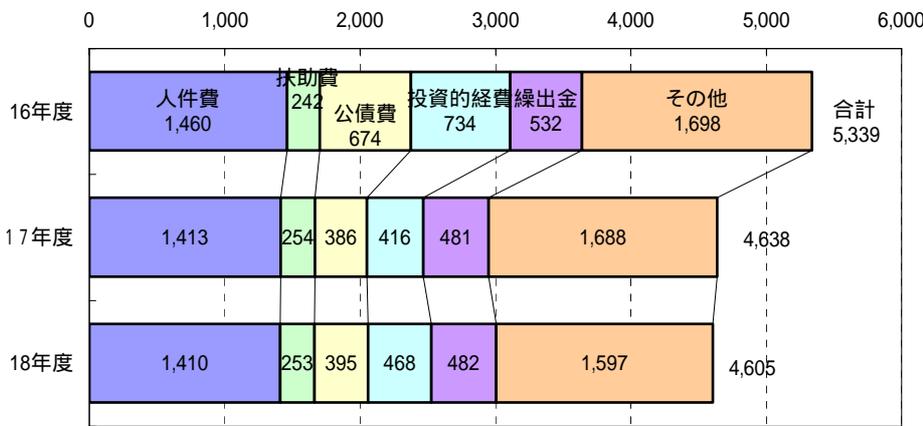
歳出

義務的経費(人件費、扶助費、公債費)はほぼ前年並みですが、公債費は今後数年間増加傾向となります。

投資的経費はまちづくり交付金事業により増加しています。その他に含まれる物件費、補助費等については町史編さん事業の終了や経費節減により減少しています。

他会計への繰出金は国民健康保険、老人保健医療、介護保険、下水道事業へが主なものです。性質別歳出の推移をグラフに示します。

性質別歳出の推移(単位:百万円)



将来にわたる財政負担等

地方債(借金)残高は41億8800万円、債務負担行為の残高は13億7900万円です。これらの合計から積立金現在高を差し引いた、将来にわたる財政負担額は42億3200万円です。

実施した主な事業

- 都夫良野ポケットパーク整備・河村城址散策道(橋梁)整備 4972万6000円
- まちづくり交付金事業(川村小学校トイレ等改修ほか) 1億4157万円
- 重度障害者医療費助成事業 3808万円
- 障害者自立支援給付事業 1億2836万3000円
- 小児医療費助成事業 1576万4000円
- 道路新設改良事業 2380万円
- 河村城跡整備 3861万4000円
- 町営火葬場解体事業等 2085万8000円

人事案件

山北町教育委員会委員の山崎司氏が任期満了となり、後任の選任に対する提案があり同意しました。

小栗壽夫氏 山北町川西
任期は平成19年10月1日から平成23年9月30日。
人権擁護委員の推薦
平成19年12月31日に任期を迎え人権擁護委員として
瀬戸開策氏 山北町山北
内田文字氏 山北町山北の両名を推薦(再任)することを決定しました。任期は委嘱の日より3年間です。

財産区管理委員会
山北、共和、三保各財産区管理委員の任期満了に伴い、新たに(再任を含む)委員選任の同意を求める提案があり同意しました。委員は各財産区7名で任期は平成19年9月25日から平成23年9月24日まで。
請負契約の締結
浅間山農道整備工事業の平成19年度分工事で、中山間地域総合整備事業として実施されます。工事延長130m、幅員5.5mで指名競争入札の結果株式会社山崎組(山北町岸2054番地)が落札しました。契約金額は5512万5000円で、工期は平成20年2月29日です。

この工事は現在整備が進んでいる河村城跡まで延伸され、平成22年度に完成予定です。完成後にはバスも通行することが可能で観光客の誘致にも寄与するものと思われま。